

## 会長挨拶

照思会は、明浄学院高等学校の同窓会として、会員相互の親睦を深め、教養の向上を図り、母校の発展に寄与することを目的としております。大正15（1926）年3月に、第1期生の卒業とともに照思会が創設されました。初代校長の吉沢孝順先生は、明治天皇の御歌「照るにつけ曇るにつけて思ふかな我が民草の上はいかにと」からこの名をお付けになりました。この名前には、卒業後も常に皆さまのことを思い、同窓生がお互いに仲睦まじく助け合っていくようにという願いが込められています。先輩方が築き上げてこられた歴史と伝統を大切にしながら、卒業生同士の交流を深め、皆さまそれぞれの経験や知識、熱い思いを共有し、共に学び合うことで、社会や学校の発展に寄与できると信じております。また、昨日のことのよう鮮明に蘇る思い出を語り合い、少しでも羽を休められる心の拠り所となる、愛される存在であり続けたいと願っております。今後は、各地でご活躍されている卒業生の皆さまの活動や情報も積極的に取り入れ、学校との連携を一層強化してまいります。皆さまの思いを形にし、次の時代へとつながる活動を推進していく所存です。学校のInstagramアカウントもフォローしていただければ、日常の母校の様子や、今後は同窓会のお知らせもリンクしてお届けしていく予定です。

ぜひご活用ください。変わらぬ友情と絆を胸に、共に歩む未来に向かい、皆さまのご多幸を心より祈念申し上げます。



明浄学院高等学校  
同窓会会長 南里 奈々